

# 子どものラグビーについて

1回の練習で、500回以上、ボールタッチ

08トップリーグ選手競技開始年齢(日本出生) 545人

小学生以下	中学生	高校以降
200人	135人	210人
36.7%	24.8%	38.5%

ソフトテニス、小学生から、中学生に上がると、23.6倍に増加  
しかし、トップ選手の90%以上が、小学生から競技開始！！

ラグビーを小学生以下から競技開始した子ども達は、  
中・高校から競技開始した子に負ける  
ラグビーの子ども達の育成に問題があるの？

ミニラグビー競技規則(5人制・7人制・9人制)では、ボールに触る機会が少ない  
パスフェイントは、タッチフットが、8倍以上！！ボールタッチが、約3倍！！

第91回全国高校大会(51チーム)

スタンドオフ(のべ 90人) ラグビー経験者 36人(40%)

Pキッカー(のべ 188人) ラグビー経験者 67人(35.6%)

オーストラリア・ニュージーランド タックル・スクラムは、10歳を過ぎてから

○プレゴールデンエイジ(5歳～8歳頃)

○ゴールデンエイジ(9歳～12歳頃)

○ポストゴールデンエイジ(13歳～15歳頃)    キープゴールデンエイジ

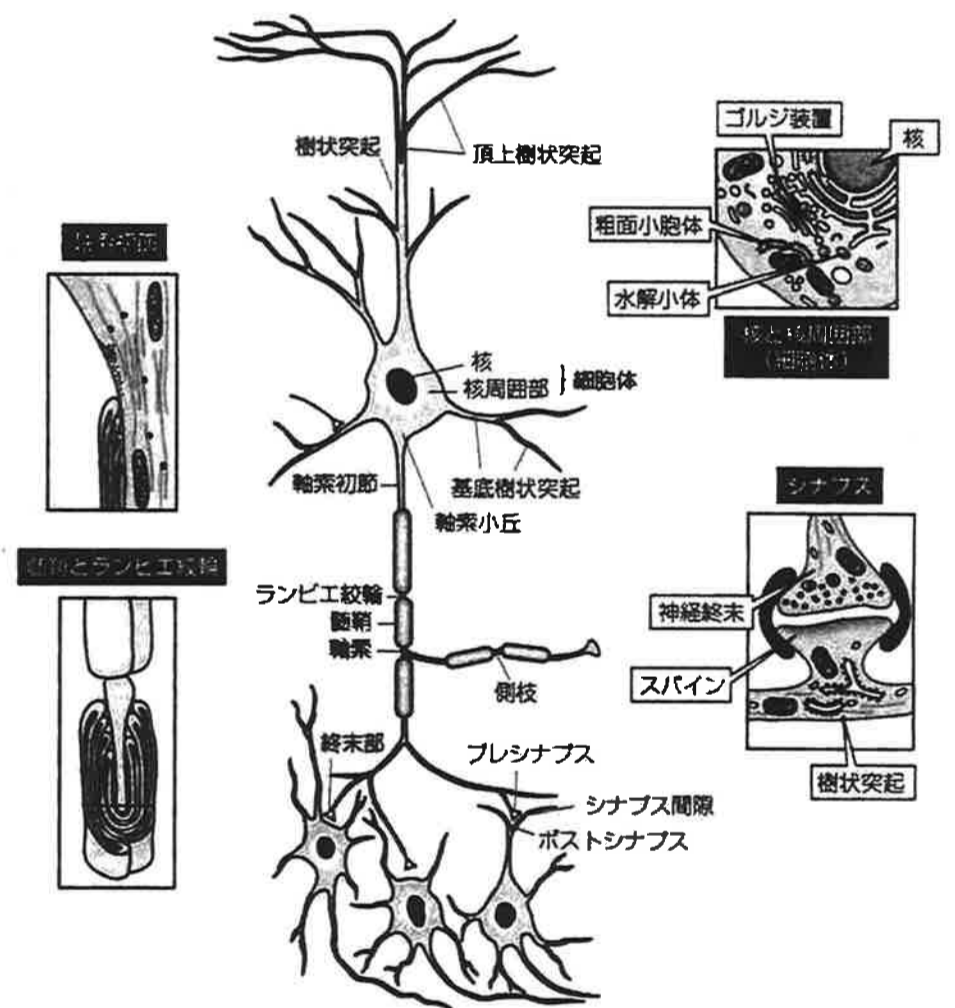
表 1988年 ソウル・オリンピックの国別メダル数

順位	国	金	銀	銅	合計
1	ソビエト連邦	55	31	46	132
2	東ドイツ	37	35	30	102
3	アメリカ合衆国	36	31	27	94
4	韓国	12	10	11	33
5	西ドイツ	11	14	15	40
東ドイツ 人口 1700万人    ベルリンの壁崩壊(1989年) 平均年間出生数 約19万人(2.6万人選抜)					
14	日本	4	3	7	14

脳の構成細胞 ニューロン(神経細胞)と支持細胞

ヒトの脳には、1000億～2000億のニューロン  
それぞれのニューロンに数千～数十万個のシナプス

## 1 ニューロンの基本構造



		0~14歳人口	選手数	比率	小学以下	中学生	高校以降
1位	佐賀	12.9万人	24	0.53	5 20.8%	0 0.0%	19 79.2%
2位	長崎	20.9万人	26	0.80	16 61.5%	3 11.5%	7 26.9%
3位	秋田	13.8万人	16	0.86	10 62.5%	0 0.0%	6 37.5%
4位	京都	34.8万人	39	0.89	12 30.8%	25 64.1%	2 5.1%
5位	山梨	12.5万人	13	0.96	2 15.4%	4 30.8%	7 53.8%
6位	福岡	70.2万人	68	1.03	48 70.6%	14 20.6%	6 8.8%
7位	宮崎	16.5万人	13	1.26	5 38.5%	1 7.7%	7 53.8%
8位	大分	16.3万人	12	1.35	4 33.3%	2 16.7%	6 50.0%
9位	大阪	121.8万人	80	1.52	30 37.5%	44 55.0%	6 7.5%
10位	熊本	26.1万人	16	1.63	4 25.0%	1 6.3%	11 68.8%
11位	岩手	18.5万人	11	1.68	1 9.1%	5 45.5%	5 45.5%
12位	奈良	19.4万人	10	1.94	6 60.0%	1 10.0%	3 30.0%
13位	鹿児島	24.8万人	11	2.25	1 9.1%	1 9.1%	9 81.8%
14位	青森	19.2万人	7	2.74	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
15位	宮城	32.3万人	10	3.23	7 70.0%	0 0.0%	3 30.0%

22位	滋賀	21.3万人	4	5.32	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
27位	兵庫	79.0万人	11	7.18	3 27.3%	3 27.3%	5 45.5%

●ピグマリオン効果

●指示待ち症候群(パブロフ)(セリグマン)

●アンダーマイニング効果

6年生で、多種のキック・パスが、左右で

一年生のテーマ ①ボール ②スペース

●ハンドオフ ●パスフェイント(キックフェイント)

●ハンドオフ ●スクリーン